

M11 良き地の産物の余剰と真実の中での父なる神に対する団体的な礼拝					
良き地の産物の余剰	I	労苦余剰	良き地での労苦からのある部分を取っておき、良き地の産物の余剰とする	A	余剰の予表—キリスト
				B	余剰の目的—神にささげ、共に享受する
				C	余剰の享受—団体的なキリストの享受
				D	余剰の成就—経験したキリストを持つてくる
真実の中での父なる神に対する団体的な礼拝	II	展覧	キリストの豊富な余剰を召会の集会にもたらし、集会の中でキリストを展覧する	A	正しいクリスチャン生活—キリストを労苦し展覧する
				B	労苦し経験し産出したキリストを展覧する
				C	キリストの豊富な余剰をもって集会で展覧する
				D	神を満足させ、敵を恥ずかしめる
				E	正しいクリスチャンの集会を持つために
				F	キリストを展覧する(詩歌)
	III	礼拝	キリストの豊富な余剰を召会の集会にもたらし、団体的に父なる神を礼拝する	A	神への真の礼拝に関して戦う
				B	礼拝—御父のわたしたちへ要求です
				C	毎日、労苦し、収穫物をもって礼拝する
				D	勤勉にキリストの上で労苦し、キリストで満たされる
				E	正しいパンさきの集会—互いに、また神と共に団体的にキリストを享受する
				F	キリストに対する真の経験を回復する
IV	真実	霊と真実の中で父なる神を礼拝する	A	真実—神聖な実際の啓示です	
			B	人の真実の由来—神聖な実際の享受	
			C	真実は実際に流れ出て美徳となること	
			D	神に対する真の礼拝	
			E	生ける水を飲むことで礼拝する	
			F	キリストで浸透され、彼を礼拝する	

まとめ 余剰を生み出す生活と余剰で満ちた集会		
どのように余剰をもつか	キリストの上で労苦する	キリストの上で勤勉に労苦する生活
余剰とは何か	余剰を生み出す	他の人の必要に応じて、神にささげる
何のために余剰が必要か	共に展覧する	毎日キリストの上で労苦し集会でキリストを展覧する
	礼拝のため	キリストを高く上げ、父なる神を喜ばせ満足させる
	真実となる	神聖な実際のわたしたちの真実となる

良き地の産物の余剰と
真実の中での父なる神に対する団体的な礼拝

聖書…申 8:7-10. 12:6-7, 11-12, 18. 16:15-17. エペソ 3:8. ヨハネ 4:23-24

旧約のイスラエルの民は、良き地で労苦し、余剰を取っておき、神を礼拝します

I. わたしたちが「余剰」という言葉を用いるのは、イスラエルの民が神を礼拝するという目的のために、良き地での労苦からの彼らの産物のある部分を取っておいたからです—申 12:5-15, 17-18, 20-22, 26-27. 14:22-23. 15:19-20. 16:16-17:

* 良き地の産物の余剰はキリストを予表します

A. 良き地の産物の余剰は、キリストを予表します—8:7-10。

* この余剰は神にささげ、神と共に享受するためです

B. イスラエルの民は、カナン産物を神にささげ、神と共にそれを享受しました。

*このことは、**団体的にキリストを享受し、神に対するわたしたちの礼拝とすることです**

C. 良き地の産物の余剰を享受することは、キリストを団体的に享受して、神に対するわたしたちの礼拝とすることを予表します——エペソ 3:8。

*新約の実際の成就によれば、わたしたちは団体的に神を礼拝するとき、わたしたちが経験したキリストを持って来なければなりません。

D. この予表の新約の成就によれば、わたしたちは団体的な方法で神を礼拝しに来るとき、わたしたちが経験したキリストを持って来なければなりません——エペソ 3:17-18. コロサイ 1:27. 3:3-4, 11。

今日、わたしたちもまた、忠信にキリストの上で労苦し、余剰を持って、召会の集会の中でキリストを展覧する必要があります****

II. もしわたしたちがすべてを含むキリストの上で忠信に**労苦する**なら、わたしたちは産物としてのキリストの豊富を持ち、召会の集会の中で**キリストを展覧します**——エペソ 3:8. I コリント 14:26:

*正しいクリスチャン生活は、**毎日キリストの上で労苦し、集会の中でキリストを展覧することです。**

A. クリスチャンの正しい生活は、毎日キリストの上で**労苦し**、こうしてキリストの豊富な余剰を持って集会にもたらし、キリストを豊かに**展覧**することです——I コリント 14:26:

1. わたしたちは召会の集会で共に集まって、キリストを展覧します——コロサイ 1:18, 27。
2. わたしたちが日ごとにキリストの豊富を経験することを通して、これらの豊富はキリストの産物の展覧となります——エペソ 3:8, 17-18. コロサイ 2:6, 9-10, 17。
3. わたしたちの集会はいつも、キリストが何であるか、キリストが何を持っているか、キリストが何を行なっているかを示す展覧であるべきです——ヘブル 1:3. 2:9, 14. I ヨハネ 3:8, 4:9, 15. 使徒 2:24, 32-33. 啓 1:17 後半-18。

*このように展覧するのは、**客観的なキリストではなく、主観的に労苦し、産出したキリストです。**

B. わたしたちが集会して展覧するのは、神によってわたしたちに与えられたキリストだけでなく、わたしたちが産出したキリスト、すなわち、わたしたちが**労苦し**て経験したキリストでもあります。これが、わたしたちが共に集まって展覧するキリストです——コロサイ 1:12-13. ピリピ 3:10。

***キリストの余剰に満ちた集会**

C. わたしたちが絶えずキリストの上で**労苦する**なら、わたしたちはキリストの豊富な余剰を持って集会にもたらし、キリストを豊かに**展覧**します——I コリント 1:24, 30. 10:3-4. 14:26。

***そのような集会は神を満足させ、敵を辱めます**

D. いつであれわたしたちが共に集まるときは、わたしたちがどのような種類の集会を持つにかかわらず、わたしたちが経験した余剰としてのキリストをもって来て、神にささげ、全宇宙と敵に展覧し、敵を辱めるべきです——ヨハネ 4:23-24. エペソ 3:10, 17. 4:15:

1. そのとき、わたしたちの集会は、キリストに満ちているので、豊かにされ、強められます——コロサイ 3:4, 10-11。
2. そのような召会生活は、キリストの展覧、すなわち、キリストの表現です——エペソ 3:21。
3. わたしたちはキリストの余剰をあらゆる集会にもたらし、キリストを展覧する必要があります——8 節。
4. わたしたちは、日常生活の中でキリストを享受し、そして共に集まって彼を展覧する必要があります——I ペテロ 1:8。

***そのためには、わたしたちは毎日、個人的な生活の中で、時間を費やして主と接触する必要があります**

E. わたしたちは正しいクリスチャンの集会を持つために、わたしたちの個人的な生活の中で日ごとに主と接触し、それから、わたしたちはキリストを展覧しキリストを他の人たちと分かち合うために来るという認識と理解をもって、集会に来る必要があります——I コリント

14:26。

***このようにしてこそ、集会の中でお互いにキリストを展覧することができます**

F. 「集会するたびにキリストを持ち寄り、彼が賜ったあり余る豊富を、神の食物として共にささげ、このようにキリストを展覧しましょう。来てキリストを展覧しましょう。来てキリストを展覧しましょう。共に豊富を持ち寄り、来てキリストを展覧しましょう」——詩歌 624 番 1 節と折り返し(全訳)。

そして、キリストの豊かな余剰を召会の集会にもたらし、キリストを展覧し、団体的に父なる神を礼拝します。

Ⅲ. わたしたちは、すべてを含むキリストの上で労苦して、キリストの余剰を持って召会の集会にもたらし、わたしたちの父なる神を団体的に礼拝する必要があります——ヨハネ 4:23-24. エペソ 3:21 :

***神への真の礼拝には、戦うことによって良き地の上で労苦することが必要です**

A. 「四十年以上の間 [1982 年に語られました]、わたしは神への真の礼拝に関して戦ってきました。この戦いはまだ勝ち取られていません」——ウイットネス・リー全集、1982 年、第 2 巻 (上)、「ヨハネの文書における幕屋とささげ物の成就」、第 15 編。

***なぜなら御父は、わたしたちがキリストの収穫物をもって彼を礼拝することを要求されているからです**

B. 御父は、わたしたちが彼を礼拝するために、キリストの収穫物をもって御父に来ることを要求します。こういうわけで、わたしたちはキリストの豊富をもって召会の集会に来る必要があります——ヨハネ 4:23-24. エペソ 3:8。

***そして御父を喜ばせ、満足させます**

C. 毎日、わたしたちはキリストの上で労苦して、キリストの豊富の収穫物を持ち、召会の集会にもたらし、父なる神を団体的に礼拝すべきです。キリストは高く上げられ、キリストの栄光は現されます。そして御父は喜び、満足します——申 12:6. 16:15-17. I コリント 14:26. ヨハネ 4:23-24。

***ですから、極めて重要な事は、わたしたちが勤勉にキリストの上で労苦して、わたしたちの手をキリストで満たすことです。**

D. 極めて重要な事は、わたしたちが勤勉にキリストの上で労苦して、わたしたちの手をキリストで満たし、それから召会の集会に来て、この豊富で栄光に満ちたキリストを、神の子供たちと共に、また父なる神ご自身と共に享受することです——I コリント 10:31. 14:26. ヨハネ 4:23-24. ローマ 15:6。

***正しいパンさきの集会とは、わたしたちがキリストの豊富をもって来て、キリストをお互いに分け与え、また神と共に享受することです**

E. わたしたちは主の食卓の集会に来て、主を記念し、御父を礼拝するときはずっと、わたしたちが日ごとにキリストの上で労苦することによって産出されるキリストの豊富をもって来なければなりません——申 16:15-17 :

1. キリストをもって神を礼拝することは、互いに、また神と共にキリストを享受することによって、神のすべての子供たちと共に、集団で神を礼拝することです——I コリント 14:26。

2. わたしたちは十分なキリストを産出して、余剰があるようにし、他の人たちと分かち合い、その産物の最上の部分を父なる神にささげて、彼の喜び、歓喜、満足となるようにする必要があります——申 15:11. 18:3-4. 12:11。

***ですから、主は、わたしたちのキリストに対する真の経験を回復し、花婿の来臨のために花嫁が用意を整えさせることです。**

F. これら最後の日々に主は、キリストに対する真の経験を回復し、集会においてキリストの豊富の余剰を展覧します。それは、キリストのからだとしての召会を建造するためであり、花婿の来臨のために花嫁が用意を整えるためです。

父なる神を礼拝するには必ず霊と真実の中で礼拝しなければなりません。すなわち、わたしたちの中へと浸透し、構成されたキリストをもって父なる神を礼拝します。

Ⅳ. ヨハネ第 4 章 23 節から 24 節によれば、わたしたちは霊と真実の中でわたしたちの父なる神を礼拝する必要があります :

*** 真実とは三一の神、この神聖な實際がわたしたちの中へと分与されることです**

A. 真実とは、啓示された神聖な實際（三一の神が御子イエス・キリストの中で人の中へと分与されること）が、わたしたちの真実と誠実になることです。それによってわたしたちは、神聖な光に一致する生活をし（Ⅰヨハネ 1:5）、また彼が何であられるかにしたがって、神が捜し求めておられるとおりに神を礼拝します（Ⅱヨハネ 1 節、Ⅲヨハネ 1 節）。

*** わたしたちの神聖な實際の享受を通して、人の真実が生み出されます**

B. 神聖な實際を享受することから、人の真実(truthfulness)と誠実(sincerity)と真摯さ(genuineness)が生じます——ヨハネ 4:23-24、Ⅰヨハネ 3:18、Ⅱヨハネ 1 節、Ⅲヨハネ 1 節。

*** 人性の美德を生かし出すことからのものです**

C. 真実とは、人の真摯、誠実、真誠、信頼に足ること、信実であって、神聖な實際が流れた人性の美德です——ヨハネ 14:6。

*** 真実が示すのは、神に対する真の礼拝となることです**

D. ヨハネ第 4 章 23 節から 24 節の「真実」が示すのは、神聖な實際が人の真摯と誠実となって、神に対する真の礼拝になるということです。

*** そのためには、わたしたちは、彼のこの命の生ける水を飲む必要があります。**

E. 神聖な實際は、生ける水（命を与える霊）の源泉としてのキリストであって、信者たちはこのキリストにあずかり、このキリストを飲みます。そして、このキリストが彼らの内側の実際となり、最終的に彼らの真摯と誠実となって、その中で彼らは、神の求めている礼拝をもって神を礼拝します——ヨハネ 4:10, 14, 23。

*** 全存在が彼で浸透されることで、わたしたちの中へと構成されたキリストをもって御父を礼拝します**

F. 真実の中で御父を礼拝するとは、わたしたちの存在に浸透して、わたしたちの個人的な 実際となったキリストをもって、御父を礼拝することです。これは、神聖な實際である三一の神をわたしたちが経験し、享受することを通してです——23-24 節。